

事務事業名		結核予防事業		会計		一般会計		実施区分			
H28担当課等名		保健課		H28係等名		健康推進係、保健指導係		H27係等名		健康推進係、保健指導係	
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり		事業種別	経常	開始	S23	終了	
		施策	31	心と体の健康づくり							
目的	対象(誰・何を)	65歳以上の高齢者					対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	胸部レントゲンの機会がない市民に、レントゲン撮影を実施し胸部結核及び肺がんの有無を早期に発見する						65歳以上の市民人口(学生、会社勤めなどで検診をうけている者は除く。)		29500	
	向上させたい上位施策の成果指標	心身ともに健康であると感じている市民の割合									
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	胸部レントゲン撮影実施人数			6000	5342	5800	-			
	定性目標										
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の市民を対象に、19年度から感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく、胸部レントゲン検診(間接撮影)を実施する事業、また、17年度から読影段階で肺がんも読影する併用検診として実施。 ・対象外としては、乳幼児・児童生徒、会社などでレントゲン検診を受けている者。 ・対象約30,000人 実施者(間接撮影)約6,000人 * 複十字募金により、結核予防の広報啓発。 										
事業内容					名称			活動指標			
27年度事業内容	1 胸部レントゲン撮影を、春・秋に、各地区を巡回して実施。 内容 胸部エックス線間接撮影[100mm]二重読影(肺がん併用検診)				1 受診者数(春・秋)			1 5,342 人			
	2 啓発事業 健康のつどい				2 実施箇所数(春・秋)			2 166箇所			
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		7,385	8,373	7,465	8,201						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		7,385	8,373	7,465	8,201						
人件費計(千円)②		374		374							
正規職員所要時間		100		100							
臨時職員所要時間		15		15							
総事業費①+②		7,759	8,373	7,839	8,201						
事業内容・目標達成状況の振り返り	検診のお知らせをインフルエンザ予防接種の通知に記載するなど、受診勧奨に工夫を凝らしているが、かかりつけ医などで受診するケースやヘリカルCT検査を選択することもあり、受診者は減少傾向にある。										
改革改善の考え方	①問題点	65～74歳は、肺ヘリカルCT検査と胸部レントゲン検診を選択して受診することができるため、ヘリカルCTを選択する人が増えると胸部レントゲン検診の受診者は減少する。									
	②改革提案	高齢者が身近な場所で受診できるよう検診会場を設定する。									